

## 実験から実装へー 北広島町吉木営農組合へスマート農業システムを導入

株式会社ちゅピCOM（以下「ちゅピCOM」、代表取締役社長・CEO：山本慶一郎／本社：広島市中区土橋町）は、北広島町吉木地区での実証実験の成果を踏まえたスマート農業の導入決定を受け、スマート農業用システムの提供を行いますので、お知らせいたします。

本件は、2021年8月5日に北広島町と締結した「次世代の地域情報通信基盤の研究に関する連携協定」に基づき、2022年から2025年まで北広島町からの委託事業で実施してきたスマート農業の実証実験の成果によるものです。

この実験結果を踏まえ、北広島町吉木営農組合においてスマート農業を推進することとなり、ちゅピCOMはスマート農業用システムの導入を担います。

今後もちゅピCOMは、地域の自治体や企業と連携しながら、地域課題の解決に向けた取り組みを支援してまいります。

### 1. 北広島町におけるスマート農業実証実験の経緯および結果

ちゅピCOMは、北広島町と締結した連携協定に基づき、IoTを活用したスマート農業推進事業の実証実験に支援・協力してきました。

北広島町では「農業振興によるまちづくり」を目的として、2022年から3年間、吉木地区をモデル地区とし、水管理の省力化・効率化に向けたスマート農業技術の導入および効果検証を実施しました。

その結果、遠隔での水管理が可能となり、従来の「毎日現地で確認する管理」から「必要時のみ対応する管理」へと転換。見回り頻度を大幅に削減し、労力の軽減を実現しました。

また、移動時間についても年間約85時間の削減効果が確認され、一般的な農作業10分以上に相当する時間の創出につながりました。

さらに、生産性向上の効果も確認され、適正な水位・水温の維持や、気象変動への迅速な対応が可能となっています。

### 2. システムの概要

本スマート農業システムは、圃場に水位・水温センサー、自動給水・止水装置を設置することで、スマートフォン等による遠隔監視・操作だけでなくセンサーと装置の連携による自動給水・止水を可能とするものです。

また、水位や水温の「見える化」により、データの推移から水田特性を把握し、栽培技術向上に資するノウハウの蓄積を図ります。

### 3. 実装の概要および経緯

上記の実験結果を踏まえ、北広島町吉木地区では、2026年4月19日に開催された営農組合総会においてスマート農業の実装を決定しました。

2026年度は40カ所の水田に導入し、翌年度以降も順次拡大していく予定です。

ちゅピCOMは、システムの提供および保守を担い、吉木地区全体でのスマート農業の展開を支援します。

今後は、本事業で得られた知見や成果を活用し、他地域への展開を図ることで、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

#### 【参考：企業概要】

社名：株式会社ちゅピCOM

所在地：広島県広島市中区土橋町7番1号

代表：代表取締役社長・CEO 山本 慶一朗

創業：1984年12月

資本金：1億円

主要株主：(株)中国新聞社、(株)エディオン、JA広島市、中国電力(株)、(株)中国新聞文化事業社、広島市、安芸郡海田町、安芸郡府中町、尾道市、府中市、神石郡神石高原町 ほか 計176

サービスエリア：広島市、尾道市、福山市新市町、府中市、大竹市、廿日市市、安芸郡府中町・海田町、山県郡北広島町、神石郡神石高原町

URL：<https://www.chupicom.jp>

—————<本件に関するお問い合わせ先>—————

株式会社ちゅピCOM	
報道機関の方	営業企画部 小槌 TEL 082-296-5564
一般のお客さま	ちゅピCOMお客さまセンター TEL 0800-555-2525